

真庭学習会ではどのような活動をしていましたか

真庭市の生涯学習課の方と相談しながら、毎週金曜日19時〜20時に小学1年生〜6年生・中学1年生を対象にして学習支援をしていました。

ワークなどの物品購入の検討や欠席などの保護者との連絡も受けていました。学期に一度のお楽しみ会の企画・運営も行いました。

学習支援ボランティアをやってみようと思っただききっかけは

1年生1学期に学校で募集案内があり、興味があったのですが、一人で参加することが不安でした。2学期になって部活動の先輩が誘ってくれたのをきっかけに参加することにしました。

浜村優子

Hamamura Yuko

勝山中学校出身

勝高ボイスインタビュー

Interview

学習支援ボランティアをしていて楽しかった。嬉しかったことは

児童と仲良くなって、親しく話しかけてくれると嬉しいです。仲間と工夫して企画したお楽しみ会を笑顔で楽しんで、喜んでくれている姿を見ると、苦労した甲斐があったなあと思いました。

学習支援ボランティアをしていて苦労したことは

子どもたちに勉強を教えることが難しかったです。特に漢字の教え方は難しく、部首を伝えてヒントを出したつもりでも、子どもがその部首がわからないこともあり、どのように伝えたら良いか苦労しました。また恥ずかしくなかなかな打ち解けず、話してくれないこともありました。友達同士で近くに座っていると、話すぎて騒がしくなるので、部屋を分けたり、座席を離したりなど試行錯誤しました。

学習支援ボランティアをしていてどんな力か身につきましたか

児童だけでなく、保護者の方ともやりとりをするのでコミュニケーション力はついたと思います。また色々なことが起きた時に臨機応変に対応することもできるようになりました。

将来についてはどのように考えていますか

将来は放課後デイサービスなどで、療育（発達支援）に携わり、社会的自立や困りごとの軽減の支援をしたいと思っています。

最後にメッセージ

学習支援ボランティアは教員志望者だけがするものと誤解している人が多いように感じます。色々な児童がいますから、関わる高校生も色々な興味・関心をもった人が必要です。ぜひ色々な高校生に参加してほしいです。待っています！

今回は学習支援ボランティア・真庭学習会（久世公民館）

の代表を高校3年生の5月まで務めていた3年生の

浜村優子さん（勝山中出身）を紹介します。

